



平成28年10月27日

各 位

会社名 日立建機株式会社
 代表者名 執行役社長 辻本 雄一
 (コード番号:6305 東証第一部)
 問い合わせ先 広報戦略室 広報・IR部長 井戸 治子
 (TEL 03-5826-8152)
 当社の親会社 株式会社日立製作所
 代表者名 代表執行役 執行役社長 東原 敏昭
 (コード番号:6501)

業績予想値と決算値の差異に関するお知らせ

平成28年7月27日に公表した、平成29年3月期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）の業績予想値と決算値との差異につきまして、下記のとおりお知らせします。

記

平成29年3月期第2四半期累計連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上収益	調整後 営業利益	営業利益	税引前 当期利益	親会社株主に 帰属する 当期利益	基本的1株当たり 親会社株主に 帰属する当期利益
前回予想 (A)	百万円 335,000	百万円 6,200	百万円 6,500	百万円 3,000	百万円 2,000	円 銭 9 40
今回実績 (B)	334,937	6,026	4,367	3,645	2,265	10 65
増減額 (B) - (A)	△63	△174	△2,133	645	265	—
増減率 (%)	0	△2.8	△32.8	21.5	13.3	—
(ご参考) 平成28年3月期 第2四半期累計	百万円 365,090	百万円 16,444	百万円 16,035	百万円 10,894	百万円 6,844	円 銭 32 19

<第2四半期業績予想値と決算値の差異の理由>

平成29年3月期第2四半期連結業績実績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）に関しては、売上収益はほぼ予想値通り、調整後営業利益は△2.8%の差異にとどまりましたが、営業利益は下期に予定していた構造改革費用を第2四半期に計上したため△32.8%となりました。税引前当期利益と親会社株主に帰属する当期利益については、為替差損等の金融費用が想定よりも減少したことなどからそれぞれ+21.5%、+13.3%となりました。

なお、平成29年3月期連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）に関しては、マイニング機械の売上収益の減少を見込む一方で、中国・アジアにおける売上収益の増加を見込むことから、平成28年7月27日の「平成29年3月期 第1四半期決算短信」で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

業績予想の前提となる為替レートにつきましては、第3四半期以降も7月27日の公表値である米ドル100円、ユーロ110円、人民元15円を据え置きます。

以上